第84号
会報 名音教
令和８年３月 10 日発行　名古屋市音楽教育研究会 広報部

令和7年度　研究主題
感じ取る 伝え合う より深く
ー 人や音とのつながりを意識した学びを目指して ー

「基礎基本にたちかえって」

名古屋市教育委員会 義務教育課
指導主事 荒川 洋子 先生

音楽科の目標は、それぞれの校種・学年において定められています。それら目標から理想とする児童生徒像をもち、目の前の子どもたちがどうしたらそこに近づけるのであろうかと、日々、試行錯誤しながら授業が進められていることと思います。しかし、音楽科は様々な行事と結びつきの強い教科ですので、時に行事のための授業になってしまうことはないでしょうか。音楽の授業の内容には表現と鑑賞があり、さらに、表現には、歌唱・器楽・音楽づくり（創作）があります。ジャンルも西洋の音楽が基となっているもの、日本の音楽、諸民族の音楽などいろいろあります。行事のための授業にならないよう、それぞれの目標に照らし、様々な分野、ジャンルの音楽をバランスよく取り扱い、子どもたちの資質・能力を伸ばし、生涯にわたって音楽を身近な友達とする子どもたちを育てていきたいと思います。

音楽科冬季研修会

令和8年2月11日（水）
ルブラ王山

研究部会から、個別最適な学びや協働的な学び、探究的な学びの実現に向けた実践が紹介されました。音楽の楽しさを実感できるようにするための「イメージカード」「おどり方カード」を用いた実践や、練習方法の選択をしたり、タブレット上の一枚ポートフォリオを用いて出来栄えを具体的に振り返ったりする実践からは、子どもたちの成長の様子が垣間見えました。また、電子キーボードを使った発声練習方法の紹介では、参加者も発声練習を体験し、音楽を形づくっている要素の何を捉えられるようにするのかを意識しながら活動を行うとよいことを実感できました。

令和7年度音楽科指導員の石黒一江先生からは、幼・小・中の学びのつながりを意識する必要性、個別最適な学びの具体的な方法をご紹介いただきました。そして、今後の音楽の授業においては、「何ができたか」よりも、「何を経験し、どう成長したのか」が大切であるとご示唆いただきました。

義務教育課指導主事の荒川洋子先生からは、個別最適な学びは技能に偏重しがちであるが、子どもたちに個々の意図や思いをもたせ深めていくことで個別最適な学びと協働的な学びを往還させながら資質・能力を育成することが大切であるとのご高評をいただきました。

令和7年度名古屋市教育研究員

「音楽的な見方・考え方を働かせ、思いをもって音楽づくりの活動に取り組む児童の育成～体を動かす活動と比較聴取を通して～」
荒子小学校 齊藤沙織先生

「きらきらしている星の音楽をつくりたい」という思いをもっていても、音色やリズムの工夫、音の重なりの工夫が見られず、きらきらする感じを表現する方法が分からない低学年児童の実態がありました。そこで、「音楽づくりの発想を得るために、知識・技能を身に付け、音楽の要素を感じ取る音楽遊び」と、「どのように音を音楽にしていくか」について思いをもつために、音楽の要素を焦点化して比べる比較聴取を手立てとし、実践を行いました。二つの手立てにより、音楽的な見方・考え方を働かせ、思いをもって音楽づくりの活動に取り組む児童の姿が見られました。

学習会

令和７年12月13日（土）
イーブルなごや

テノール歌手の塩谷幸大先生から、明日からの授業で使える発声トレーニングや合唱指導を教えていただきました。

発声トレーニングでは、脱力して歌唱ができるよう、肩のストレッチをしたり、ステップをしながら、息を吸ったり吐いたりしました。

また、水を入れたペットボトルにストローを入れて、ブクブクと生まれる泡の大きさが同じになるように、息を吹き込みました。そうすることで安定して息を吐くことができ、響きのある発声につながりました。

合唱指導では卒業式でよく歌われる「旅立ちの日に」を学びました。音楽に立体感を出させるために、歌詞の名詞は言葉の頭を強調したり、助詞は少し引くように息を吐いたりして抑揚をつけました。また、響きを出すために、手のひらで口を押えたまま、歌いました。その後、手を放して歌うことで、腹式を意識した発声が生まれ、より力強い響きで歌うことができました。

第25回 名古屋市中学校合唱フェスティバル

令和8年1月31日（土）
名古屋大学 豊田講堂

名古屋栄ライオンズクラブ主催の合唱フェスティバルが開催され、中学校23校が参加し日頃の練習の成果を合唱で発表しました。

どの学校も、それぞれのよさを生かした歌声を届け、会場は温かな拍手に包まれました。

全員合唱の「夢の世界を」と「あすという日が」では、出演者全員の思いが一つになり、会場いっぱいに心地よいハーモニーが響き渡りました。

会員募集

現会員継続募集　入力は3月23日まで
下記 URL または二次元コードから

新規会員募集　4月10日まで

内容に対するお問い合わせは
名音教広報部 野立小学校 徳田幸子まで